

2 報告

(1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について 【小牧警察署担当】

年	R2	R3	R4	R5	R6
交通事故発生件数	5,403	5,512	5,785	6,017	5,956
うち、死亡事故	1	7	0	3	1
刑法犯認知件数	864	825	874	958	1,062
うち、特殊詐欺	23	7	17	27	26

(2) 令和6年度の交通防犯の取組事項について

① 交通安全対策事業について

・交通安全教室

開催回数	20回
対象者	高齢者、幼児、児童、生徒、一般など
主な内容	歩行時や自転車走行時の注意、交通ルールの説明、VR・シミュレーター等

・交通安全街頭キャンペーン等

開催回数	24回
主な内容	四季の交通安全運動、飲酒運転根絶、シートベルト着用の徹底、自転車マナーの向上・ヘルメットの着用・保険の加入、高齢者事故防止、夕暮れ時ライト点灯、夜光反射材着用などをテーマとした街頭啓発活動

・その他広報・啓発活動

- (1) 広報こまき・市ホームページ・市公式LINE・生活情報誌等による情報発信
- (2) ストップマークシールを各区の交通委員に配布し、路面に設置
- (3) 小牧郵便局にステッカーを贈呈し、郵便車両を通じて交通安全啓発を図った

② 防犯対策事業について

・防犯教室

開催回数	13回
対象者	高齢者、一般、児童など
主な内容	住宅対象侵入盗、特殊詐欺対策、連れ去り防止等

・防犯街頭キャンペーン等

開催回数	14回
主な内容	四季の安全なまちづくり県民運動、特殊詐欺、住宅対象侵入盗、自転車盗難防止等をテーマとした街頭啓発活動

・その他広報・啓発活動

- (1) 広報こまき・市ホームページ・市公式LINE・生活情報誌等による情報発信
- (2) 年金支給日に合わせた特殊詐欺防止の啓発を金融機関と連携して実施
- (3) 民生委員の高齢者宅訪問時に特殊詐欺防止啓発資材の配布・注意呼びかけを依頼

【交通・防犯共通の啓発活動等】

- (1) 交通安全・防犯に関するポスター・標語の特別賞作品を市役所及び巡回バス「こまくる」のデジタルサイネージにて掲示した。
- (2) 小牧市市民会館で開催される寿学園において、小牧警察署員と協同で啓発品を配布し、交通防犯の啓発を実施した。
- (3) 高校において自転車盗防止のためのツーロック啓発及び自転車用ヘルメットの着用に関する啓発を実施した。
また、市内の駅駐輪場及び市役所駐輪場にて自転車の鍵かけを促す看板の掲示やヘルメット着用の呼びかけを実施した。



- (4) 「パトロール実施中」の自動車用交通防犯啓発マグネットを区・防犯パトロール団体等に配布した。当該車両が市内を巡回することで、犯罪の抑止及び地域の防犯力・交通安全意識の向上に寄与するため、引き続き配布していく。



- (5) 令和2年3月より通学路等に設置している防犯カメラについて、既存の100台に加え、令和6年度から100台を追加して稼働させた。これにより、子どもたちの登下校時の安全をさらに確保できるよう努める。

(3) 今年度の取組事項について

①交通安全マップの作成及び防犯対策課題提案型実証事業について

「SAFE TOWN小牧」の実現に向け、テレマティクス技術を活用した小牧市内の交通安全マップの作成に取り組む。8月には、市内の交通量や危険箇所等のデータ収集のため、市民モニター参加型の実証実験を行う。

防犯対策では、実証事業においてVR技術を活用した体験型ツールを作成、子どもや高齢者の犯罪被害防止のために活発な運用を目指す。8月以降、市内各所で体験会を開催して多くの方に体験いただくことから始め、その後もさらなる活用を図る。

②交通安全・防犯対策ポスター・標語の巡回バスへのラッピング等について

今年度も引き続き市内の様々な場所を走る巡回バスに、交通安全・防犯対策を呼びかけるポスターをラッピングし、多くの市民に広報・啓発する。夏休み期間中市内小中学校の児童生徒に募集を呼びかけ、第2回の当協議会で委員の皆様により優秀作品の選出を行っていただく。

《参考：ポスターのラッピング箇所等について》



③自転車乗車用ヘルメットの補助等について

自転車利用時のヘルメットの着用を促進し、自転車に係る交通事故による被害の軽減を目的として、ヘルメットの購入費の一部を補助している。(申請件数 R4:1,255件、R5:2,432件、R6件:1,236件)ヘルメットの普及、着用促進及び自転車損害賠償責任保険等への加入のPRを引き続き実施する。

④地域防犯カメラ等設置補助金の拡充の周知について

区が道路等の公共空間に設置する防犯カメラ等の購入及び設置費の一部を補助する当該制度については、R5:5件(732千円)、R6:3件(583千円)の申請があった【予算額2,000千円】。制度開始から令和6年度まで補助率1/2【上限額20万円】で実施していたが、区の負担軽減とさらなる普及促進のため、補助上限額の引き上げと予算額の増額要望を行い、令和7年度から補助率1/2【上限額34万円】、【予算額3,400千円】に拡充して事業を実施している。地域防犯カメラの設置・活用をさらに促進させ、市内の犯罪発生を抑制を図る。